

公開シンポジウム ウェルビーイングと環境
「地球温暖化と太陽放射制御」& パネルディスカッション

基調講演：国立極地研究所特任教授 近藤 豊氏 10月20日(日) エッサム神田ホール1号館



岡山支部会員 木林京子さん(岡山支部会員 小児科専門医 医学博士)
小児科医として活躍されるなか、職種、世代、立場を超えて、子育てを応援できる「わ」を広げたいと「親子そだてすこやかなわ」を設立し、すこやかな子育てを応援できる「わ」を広げられています。



パネルディスカッションでコメントーターとして参加された岡山支部会員木林京子さん(中央)

近藤豊先生から、気候変動や環境について、最先端の深く幅広い知見をご講演いただいた後で

パネルディスカッションでは、世界各国での流れと最新の情報を研究者の立場から、海洋環境の現状と変化をインターンシップやサミットで体感されたユースの立場から、気候変動の影響により甚大な被害が多発する地域での人道支援を行うリーダーの立場から、気候変動の深刻な影響を受ける社会的弱者の人権を考える研究者かつ母親の立場から、それぞれお話、討論いただくことで、会場全体の熱量が上がりました。現代の子どもたちに見られる影響も合わせて、分野を超えて情報共有できることで開かれる、これからの未来への可能性も感じられる貴重な機会となりました。(木林京子)



会場の様子

(一社) 大学女性協会 JAUW
岡山支部 支部便り

2024年度
vol.2

THE OKAYAMA BRANCH OF JAPANESE ASSOCIATION OF UNIVERSITY WOMEN.

発行日 / 2024年12月20日

ごあいさつ

支部長 谷川 紀子

一年が経つのは、本当にあっという間ですね。年の暮れを迎えましたが、いかにお過ごしでしょうか。今年も JAUW 岡山支部の活動にご支援、ご協力いただきありがとうございました。

7月「CSW68 参加報告会」で発表された横山浩花さんは、10月27日付山陽新聞の中で「岡山でジェンダー平等をテーマに気軽に意見交換できる場づくりに取り組んでいる」と述べられていました。同郷の若者の活躍に大きな力をもらいました。11月末から Jカフェ PV、日本文化体験交流会、杉村洋子さん講演会と毎週充実した活動が開催され、「学びの秋」を堪能させていただきました。10月の JAUW 公開シンポジウムではコメントーターとして木林京子さんが発表され、岡山支部からは対面3人、オンライン7人が参加しました。近藤豊氏(国立極地研究所特任教授・東京大学教授)は基調講演「地球温暖化と太陽放射制御」で温暖化のリスクが耐え難いものになる前に、地球を人工的に冷却する太陽放射制御の開発が必要であると話されました。航空機を使用して高度20kmの大気中に微粒子(エアロゾル)を注入し、太陽光反射を利用して地球を人工的に冷却する方法だそうです。初めて聞く内容に大きなインパクトを受けました。温暖化による猛暑、干ばつ、気温や海水温の上昇による農作物への影響、ゲリラ豪雨や台風などの高まる災害リスクがすでに私たちに降りかかってきています。真剣に「ウェルビーイングと環境」について考えていかなければならないと思いました。今年もいろいろありましたが、皆さまと一緒に、JAUWを通して多くの学びをいただきました。

年末年始はゆったりとお過ごしになられ、穏やかな新年を迎えられますよう心よりお祈り申し上げます。来年もよろしくお願い致します。

総務委員会より 総務委員長 木口 京子

今年も残りわずかとなり、皆さまには忙しい毎日を送っていらっしゃると思います。私たちの任期も今年度末で終わりとなります。当初の思い、先輩方と気楽にお喋りしながら岡山支部のこれまでのお話を伺いたい。そして、これまでの活動のアーカイブを残したい。役員だけで右往左往するだけでなく、それぞれの委員会の皆さんを巻き込みながら和気藹々と活動したい。このような活動はあまりできないままで今に至っていますが、何かひとつでも、取り掛かりたいなあと思っています。みなさま、よいお年をお迎えください。これからも一緒に楽しく活動しましょう！！

企画委員会より 企画委員長 杉村 勝子

2024年度も残すところ3ヶ月。年の瀬の12月8日(日)に支部会員の杉村洋子さんを講師にお迎えし、研修会を開きました。「介護現場の今と見えてきた課題、そして今後の展望」をテーマにお話を伺い、「自分ゴト」として捉え、各自がしっかりと考える場となったのではないのでしょうか。残念ですが、今期は2回の研修会に終わりそうです。振り返ってみると、年初めに掲げた「楽しく学ぶ」を実践出来た一年であったと思っています。

国際委員会より 国際委員長 矢吹 眞弓

12月1日(日)に岡山県国際交流協会(OPIEF)と日本文化体験交流会を開催しました。今年は「おはぎ作り」と「茶道・日本の遊び体験」でした。会場の制限(利用人数の制限)のため、当協会からは5名のみのお手伝いでした。恒例の国際女性デー記念講演は、2025年2月16日(日)に開催します。「ルワンダの教育を考える会」理事長の永遠璃(とわり)マリールイズさんに、「大切なもの・教育・平和」をテーマにご講演いただきます。多くの皆様のご参加をお願いいたします。どうぞよろしくお祈りいたします。

member's news
新会員の
ご紹介

三宅 沙侑美さん



皆様、はじめまして。現在、岡山大学大学院社会文化科学研究科の博士課程の3年生です。心理学の視点から介護の質向上に向けた研究をしています。また、理学療法士として現場で働きながら、教育現場では理学療法士の後進育成にも携わらせていただいています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

白石 奈津栄さん



2024年 vol.1 でご紹介した白石さん。*お写真を掲載していませんでしたので掲載させていただきます。

バザー収益金のご報告

- 7/20(土) 第1回 支部例会バザー収益金 4,400円
- 12/8(土) 第2回 支部例会バザー収益金 2,620円

ご協力
ありがとうございました。

今後の予定

●2025年1月25日(土) 12:00~(受付11:30~)
岡山支部 新年会 場所: キューティーパイクフェ
(岡山市北区いづみ町2-1-4 総合グラウンド内クラブハウス)

●2025年2月16日(日) 13:30~(開場13:00)
国際女性デー 記念講演「大切なもの・命・教育・平和」
講師: 永遠璃マリールイズさん 場所: さんかく岡山会議室(岡山市北区表町3丁目1-14-201)

●2025年2月8日(土) 14:00~
第18回 Jカフェ
講師: 佐賀千恵美さん

京都支部会員。「虎に翼」のモデルを検証し、「三淵嘉子の生涯」を刊行した弁護士さん。

「第68回国連女性の地位委員会(CSW68)参加報告会」

7月20日(土) さんかく岡山 会議室 参加者37名(zoom参加者含む)



とても素晴らしい報告会でした。登壇者は、若手の派遣者横山浩花さん(派遣時ノートルダム清心女子大学大学院)と岡山支部会員木口京子さんと東京から来てくださった若手派遣者の吉原佐保さん(派遣時青山学院大学)の3名でした。発表の詳細は記録できてなかったのですが、私が感銘を受けたことを報告いたします。

①木口会員には多忙の中、国連まで足を運ばれ世界の女性の地位の向上への取り組みを肌で感じてこられたこと誰にでもできることではありません。そして大学女性協会が取り組んでいるCSWへの派遣の意義を分かり易く会場の皆さんに解説してくださいました。

②横山さんには、女性の地位向上に向けて世界のユースの多様な考え方を吸収されて私たちに伝えてくださいました。この会議の報告書が正式なものとして発表されないことへの率直な疑問をなげかけられ、私も報告書がないことに驚きでした。

③吉原さんには包括的な性の相談や教育など、ジェンダー平等への日頃の活動も含めて一歩踏み出すことへの大切さを強く訴えられました。

ジェンダーの視点をすでに持っていらっしゃる三人でしたからの確なお話を聞くことができました。国連女性の地位委員会という大きな舞台の中に飛び込んで行かれ十二分に世界のユースの課題や現状を報告してくださいました3名の方々に厚くお礼申し上げます。

今回、派遣者を出せた大学女性協会岡山支部に大喝采を、そして、次に続く若手を発掘しなければと痛感した次第です。企画してくださいました企画委員の方々に感謝いたします。(真邊和美)



voice アンケートに多くの感想をいただきましたので一部ご紹介いたします。

▶会場参加の方々より

- 高校生や男性も参加していることに驚きを感じ、素晴らしいと思いました。特に、若い二人の講師の方の熱意がひしひしと伝わり、とても頼もしく感じた。
- ジェンダーを起因とする課題と取り組みを知ることができました。今後の変革のためにはユースの行動が重要。
- 身近になかった国際会議についてどのような場なのかよくわかった。その結果を自分のためだけでなく進めていこうという思いを感じられた。

▶ZOOM参加の方々より

- 若い方たちの行動力が素晴らしいと思いました。社会をよくしたいという意欲に満ちていて、具体的な目標をもって取り組んでおられる様子が分かり、うれしく思いました。
- 世界的視野で他国のジェンダー平等の取り組みや考え方を学ぶことは大きな刺激になりました。「これは女性の問題ではなく人権の問題だ」の言葉がすべてを物語っています。日本は先進国でありながら、まだこのレベルですかの一言が、今の現状にまさにぴったりだと思いました。
- 若い人ものびのび発言していて、和やかな雰囲気とても良かった。

岡山国際交流協会との共催事業

「日本文化体験交流会～茶道・日本の遊びと和菓子作り～」

12月1日(日) 岡山国際交流センター 参加者 おはぎ作り10名/茶道・日本の遊び16名



茶道では、矢吹・鎌木両会員の和服姿での運び役も輝いていました。

おはぎ作り 参加者は、フィリピン、中国、ベトナムの方などで、おはぎを食べたことのない方、初めておはぎを作る方とさまざま、皆さまとても楽しそうに、あんこときなおはぎ作りに取り組みました。「美味しかった!」「国に帰ったらこの体験を家族や友人に伝えたい。」と日本の伝統文化体験を通して笑顔いっぱいの国際交流ができました。(岡崎優子・谷川紀子)

茶道・日本の遊び 英語堪能な茶道講師安芸先生の軽妙な進行で、簡単なゲームを楽しんだり実際に抹茶を点てたり、参加者の楽しそうな様子が印象的でした。生菓子や抹茶も美味しくいただき、設えやベトナムや中国の品々の話も大いに盛り上がりました。抹茶をいただいた後は、けん玉、おはじき、カルタ等の懐かしい「日本の遊び体験」を参加者それぞれ楽しんでいました。有意義で盛況な日本文化の体験・交流会となりました。(竹井恵子)

第2回 研修会「介護現場の今と見えてきた課題、そして今後の展望」

12月8日(日) ウィズセンター会議室 参加者20名 講師：岡山支部会員 杉村洋子さん



講師の杉村洋子さん(左上)

講演会後のグループ討議も盛り上がりしました。

「明日は我が身」の介護の話を、ご自身が介護事業所のオーナーである岡山支部会員の杉村洋子さんからお聞きしました。介護のプロのお話して、私たちの今後のことを考える良い機会となりました。「デイサービスなどを選ぶときは、実際に見学してオーナーから話を聞いてその人に合った場所を選ぶこと」また、「後見人を決めておくことや、様々な手続きを誰に委託するのか等、介護が必要になった時、どのような生活がしたいかを考えておくのも大切」など、自分がこれからやるべきことが見えてきた有意義な時間でした。

第17回 Jカフェ「香り文化のルーツを辿る」岡山支部パブリックビューイング

11月30日(土) ゆうあいセンター大会議室 参加者9名 講師：江崎一子さん(大分支部会員、元大分香りの博物館館長)



毎回、様々な方面からの専門的な話が伺える「Jカフェ」。今回は香りのお話で古代から現代までの香りのルーツを知ることができました。最近はオンラインでも受講でき、岡山からでも参加しやすくなりましたが、私は一人でPCに向かうのはちょっと寂しいなと思い、岡山支部のパブリックビューイングに参加。大きな画面で聞くことができ、会員の皆さんともお会いできてなんだか楽しい時間でした。次回も参加したいと思いました。(梶谷貴美子)